

白十字八国苑 ボランティア



28年間趣味活動を支えて下さっているボランティアのSさん

福祉カレッジという白十字ホームで車椅子の動かし方などの学習会に参加したつなかりでボランティアを始めました。元々手先を使う作業が好きで、編み物や刺し子など役に立つことが出来て嬉しいです。ボランティアを始めてもう28年が経ち、今のご利用者さんはみんな意欲的です。これからも元気に続けて欲しいと思います。

デイサービスを出る時に皆さんから「お疲れ様でした！」と言ってもらえると元気がもらえます。私も皆さんに声をかけていきたいと思っています。





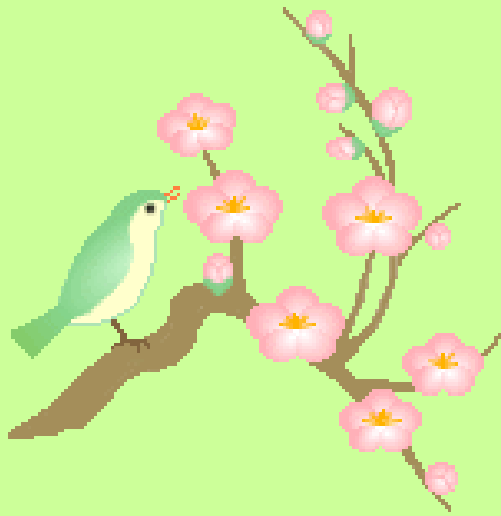
音楽療法を盛り上げて下さるボランティアの W さん



6年前、2年間八国苑を利用した時は月曜日のグループ体操や金曜日の音楽療養に参加していましたが、ソファーに座って職員さんの動きを見て「これじゃ、いけない!」と思い、八国苑では初の卒園式をしてもらい、デイサービスをやめて2か月ぐらいてからボランティアを始めました。

ボランティアを始めた理由は、お世話になったお礼がしたいとの思いからでしたが、今では自分の元気のもとになっています。前日から明日はボランティアだと、心の準備をし、家から出るきっかけにさせてもらっています。これからも自分の元気の為と皆様のお役に立てるよう頑張ります!





カゴ編みのスペシャリストOさん

佐渡島で生活していましたが、長男が心配をして70歳を過ぎてこちらに来ることになり、「何もしないとボケてしまうから。」と言われたのがボランティアを始めるきっかけとなりました。子供の頃の覚えていない火傷や、中学卒業後のギックリ腰など、いろいろとありましたが、皆さんのおかげでここまでくることができ、お礼の意味で何かできないと思っています。

前は、街中で知らない人に話しかけるのは勇気が必要で、タイミングが難しく遠慮していました。しかし、ここでボランティアを経験し、知らない人にも自然に声をかけられるようになったと思います。また、八国苑に来るまでの「坂道を登れるか？」が自分の健康のバロメーターになっています。自分の体の事だけど、家族や周囲の人、みんなに関わる事だと気付かされます。健康について他人事ではなく、自分も気をつけないといけないと思うようになりました。





みんなの相談に乗って下さるボランティア Aさん

72歳の頃に脳梗塞をおこし、2カ月入院しました。一日でも早く元に戻りたいと思い、リハビリをかねて八国苑を週1回利用し、5ヶ月続きました。もともと性格がおせっかいでおしゃべり好きなので、八国苑を卒業してからも自分から社会福祉協議会に行く事ができ、ボランティアを始める事ができました。

心臓の手術でボランティアは2年間ブランクがありますが、その後もまた来れるようになりました。自分も病気になり、リハビリ、デイサービスなどを利用してきて、八国苑を利用されている色々な事情を抱えている者さんの気持ちが分かる気がします。だからこそ、死ぬまで勉強だと思って、ここでボランティアをしています。

